



最優秀賞の表彰を受ける村上さん㊦



最優秀賞に輝いた畠山さん㊦

生産技術と販売力の向上を目指す

ブランド構築と魅力ある活動を展開

J Aトマト部会は2月5日の通常総会で、令和元年度は作付面積が減少したものの栽培管理を充実させたことで反収と総出荷量が前年を上回ったことを報告しました。令和2年度は、長期出荷と品質の安定に努め産地基盤強化を図ります。成績優秀者表彰では最優秀賞に村上真さん（室根）が輝き、任期満了に伴う役員改選では、部会長に南野晋さん（大東）が再任されました。

信頼される産地の確立へ

施設栽培への切り替えを提案

J Aピーマン部会は2月4日の通常総会で、令和2年度は販売金額3億4914万円を目指すことを決めました。新たにモバイルメールを活用した技術情報発信で適期管理につなげるとともに、長期安定出荷に向け露地から施設栽培へ誘導することを確認。優良生産者表彰では最優秀賞に畠山貴一さん（室根）が輝き、任期満了に伴う役員改選では、部会長に菅原清信さん（藤沢）が再任されました。

NEWS

産地PRで販売強化へ

J Aいちご生産部会は2月4日、いわて生活協同組合と産地交流会を開き、店舗の農産物担当者が生産者と交流しイチゴについて理解を深めました。



豆腐作り大変だけど楽しい

J A女性部花泉中央支部涌津支部は1月30日、涌津小学校（花泉）3年生に大豆をつぶす工程から豆腐作りの一連の流れを指導しました。

体験通じ食の大切さ実感

J Aは2月5日、稲作体験事業の意見交換会を開き、小学校の教員や指導する生産者、J A青年部らが活動内容の報告と課題を共有しました。



農大生が牛の世話を体験

東京農業大学の人材教育プログラム多摩川源流大学の学生が2月4日、室根高原牧場で餌やりや除ふん作業などを体験し、6日は県南家畜市場の見学をしました。



夏秋の部で最優秀賞の佐藤吉行さんの奥さん(大東) ㊦



優良生産者表彰を受ける千葉さん ㊦

組織の見直しと出荷規格の統一を 作型別の専門部制へ再編を検討

J Aきゅうり部会は2月14日、第5回通常総会を開き、令和2年度は組織と会計の見直しや販売数量1125ト、販売額2億9千万円を目指すことを確認しました。出荷規格の統一や作型別生産者の研修と交流を図りやすくするため、東部、西部の支部制を夏秋と施設の専門部制へ再編することとし、令和3年度から専門部制で活動する方向付けをしました。

消費者ニーズに応える責任ある産地に 高品質な花きの安定出荷を目指す

J A花き部会は2月12日の通常総会で、令和2年度は生産技術と品質の向上を図りブランド力強化に取り組むことを決めました。段ボールサイズを変更し出荷コストを削減する他、箱詰め方法の簡略化で労力軽減を図り、出荷量と農家所得の増大に努めます。優良生産者表彰では優秀賞に千葉文彦さん(千厩)が輝き、任期満了に伴う役員改選では、部会長に小山浩さん(室根)が再任されました。

TOPICS

前年同期を上回る好成績

J Aは2月4日、いわて南牛枝肉研究会を開き、出品された去勢牛19頭、雌牛5頭の中から、千葉大さん(藤沢)の去勢牛が最優秀賞に輝きました。



各地域で総会を開催

J A青色申告会一関支部は1月30日に開いた通常総会で、会費を統一し帳簿が必要な人は個別注文することを決めました。



幸せな最期への一歩

J A女性部大東中央支部は2月13日、中央支部大会を開き、県立中部病院の星野彰副院長に幸せに年を重ねるコツを学びました。



介護予防運動などで交流

J A女性部藤沢中央支部は2月8日、女性部交流会を開き、顔面体操や舌体操などを体験し、口腔内の健康が健康寿命の延長につながることを学びました。





支部表彰を受ける川崎支部の千葉正明さん(左)



なす栽培30年表彰を受ける千葉さん(左)

生産率と子牛の品質向上を目指す 有利販売へ向けた取り組みも

JA和牛生産部会は2月21日、通常総代会を開き、平成31年度販売頭数3190頭(前年比95%)、販売額24億4593万円(前年比94.8%)となり前年を下回る結果となったことを報告しました。令和2年度は販売目標を3100頭、販売額22億円を目指し、分娩間隔短縮と事故率低減による生産率向上と子牛の品質向上を重点目標とし、組織強化と販売対策に取り組むことを確認しました。

成長し続ける産地を目指して 機械共同選果も視野に検討を

JAなす生産部会は2月21日の通常総会で、生産者数と作付面積の減少が出荷量に影響していることから、なすブックを最大限活用し栽培技術の底上げと、仲間づくりを進め産地拡大を図っていくことを決めました。なす栽培30年表彰を花泉の千葉健さん、菅原廣さん、及川誠司さん、皆川清喜さん、藤沢の菊地美喜夫さんが受賞。任期満了に伴う役員改選では部会長に千葉昭義さん(花泉)が再任されました。

NEWS

活動成果の展示も

JA女性部千厩中央支部は2月14日、女性部大学生生活講座を開きゴミの分別方法を学び、ICN歌謡大賞受賞の及川初子さんの歌謡ショーなどで交流を楽しみました。



一関産の旬食材をPR

一関市は2月14日、地産地消費フェアをJAファーマーズいわて平泉で開き、イチゴとリンゴを使った3品の試食とレシピを紹介しながらPRしました。



試食で味を確かめて

JAは2月8日、関西大手スーパーのイズミヤ八幡店(京都府)と八尾店(大阪府)で販売キャンペーンを行い、いわて平泉米「ひとめぼれ」をPRしました。



家庭菜園の充実へ

JA女性部平泉中央支部は2月19日、(株)渡辺採種場の小林将課長に春野菜の種まきや栽培方法を学びました。





最優秀賞の友大仁さん(室根) ㊦



販売枝肉単価雌の部で表彰された米倉稔さん(藤沢) ㊦

部会初めての取り組みを報告

若手生産者圃場巡回など

JAMinito馬部会は2月25日の通常総会で、若手生産者同士の圃場巡回や新規生産者1組織がト口箱を使用した簡易溶液栽培システム「ういずOne」を導入した栽培に初めて取り組んだことを報告しました。令和2年度は単収向上や作業の省力化、長期安定出荷できる産地を目指すことを確認し、任期満了に伴う役員改選では、部会長に藤村照豊さん(室根)が再任されました。

販売頭数と販売額が向上

素牛の能力を最大限発揮させる飼養管理へ

JA肥育牛部会は2月25日の通常総会で、令和元年度の販売頭数680頭(前年比103%)、販売額8億1749万円となり、子牛価格が高値で推移する中で前年を上回ったことを報告しました。令和2年度は飼養技術の研鑽を図り素牛を適切に管理し、部会一丸となり肥育経営に邁進することを確認。任期満了に伴う役員改選では、新部会長に及川正一さん(藤沢)が選ばれました。

TOPICS



合併5周年記念旅行でシンガポールを観光

JAは合併5周年記念ふれあいの旅を2月19日から5日間の日程で開催し、17人がシンガポールを訪れました。マーライオンやガーデンズ・バイ・ザ・ベイなどを観光し、ソウルフードのチキンライスも味わい、旅を満喫しました。

乳質改善大賞に輝く

岩手県乳質改善協議会は2月19日、生乳生産技術の向上などに取り組む優秀農家に県乳質改善大賞を贈りました。当管内では(有)あぐりずむヤスバ(室根)と須崎智博さん(川崎)が受賞しました。



分析踏まえた対策を指導

一関地方農業再生協議会は冬期営農座談会を2月4日から各地域で開き、登熟初期と後期の水管理や適期刈り取りなどについて指導しました。

